取扱説明書

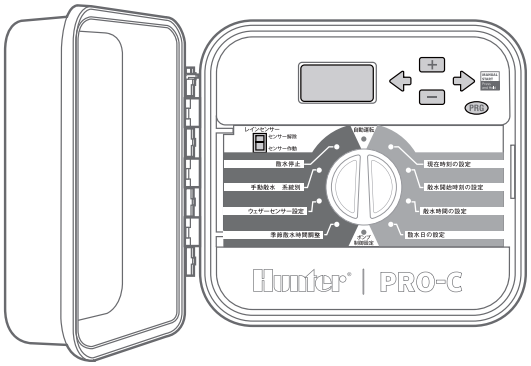
No.C10-01-08

グローベン株式会社

C10SR400C／C10SR700C／C10SR1000C
C10SR1300C／C10SR1600C

プロCコントローラーシリーズ

この度はプロCコントローラーをご購入頂きありがとうございます。
ご使用の前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。



目次

1:ご使用の前に
2:各部の名称
3:取り付け
4:操作方法
5:よくあるQ&A

日常ご使用して頂くお客様へ

機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。
万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、
設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、
散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ

- ●本製品の設置の際には「防水コンセントプラグ」を別途ご用意下さい。
- ●9Vアルカリ電池（別途）があれば、AC100V電源が無くても設定可能です。
- ●この説明書と製品保証書は、工事完了後は必ず管理者様、施主様
  （日常操作可能な方）にお渡し下さい。

お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

グローベン株式会社	URL http://www.globen.co.jp Email info@globen.co.jp		
本社(営)	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-829-0800 FAX 052-829-0801	関西(営)	〒666-0016 兵庫県川西市中央町18-26 TEL 072-755-8075 FAX 072-755-8077
関東(営)	〒336-0926 さいたま市緑区東浦和7-24-28 5-102 TEL 048-810-5500 FAX 048-810-5163	商品センター	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-619-6788 FAX 052-619-6786

コントローラー設置日: 年 月 日

14.08

1. ご使用の前に

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。

警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- 本製品は自動散水制御専用の機器です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。
- 停電による停止や誤作動などの原因で、使用製品以外に深刻な損害の出る事があります。
  必ず日常点検を行い、停電による停止や誤作動がないか確認して下さい。

注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- 散水機器の使用は上水道もしくは、清水を必ず使用して下さい、井戸水、雨水などの場合には十分にろ過を行ってから使用して下さい。ろ過が不十分の場合には機器の動作不良の原因になります。
- 散水機器を使用しての薬剤散布は行わないで下さい。
- 散水機器のフィルター、本体の汚れは必要に応じて水で洗浄して下さい。溶剤、薬品は使用しないで下さい。
- 凍結時、または凍結が予想される場合には使用しないで下さい。
- 電磁弁、センサーは当社指定の物をご使用下さい。
- グローベン自動散水システムはスプリンクラー、ドリップチューブなどの散水機器に適した範囲の水圧でご使用下さい。水圧が基準範囲外の場合散水が機能しなかったり、機器が破損する場合があります。下記をご参照下さい。

使用水圧	ドリップチューブ、簡易ポイントタイプ：150～300Kpa 小・中規模スプリンクラー：200～350Kpa、大規模スプリンクラー：300～600Kpa

- グローベン自動散水システムは散水を補助するものです。使用中に植物等に被害が生じても、当社は責任を負いかねますので予めご了承頂く様お願い申し上げます。
- 設置の際には以下の場所を避けて下さい。機器が誤作動する場合があります。
  ■高周波ノイズ・電界・磁界の強い場所
  ■振動や衝撃の発生する場所
  ■湿気や粉塵、腐食性ガス（アンモニア、亜硫酸等）のある場所
- コントローラー設定後は必ずカバーを閉めて、施錠をして下さい。カバーが空いた状態で雨水などが侵入するとコントローラーが故障する恐れがあります。

製品保証について

本製品の製品保証については、製品出荷時に添付してある保証書をご参照下さい。

施工の際に注意して頂きたいこと

※８ページもあわせて、ご参照下さい。

- ＡＣ１００Ｖ用のコンセントプラグ、ケーブル類は付属しておりません。お手数ですが、別途ご用意下さい。
- 設置の際には他の電化製品から５m以上離して下さい。コントローラーが誤作動する恐れがあります。
- 本コントローラーは家屋の壁面に設置することを前提に設計されており、完全な防水機能は備わっておりませんので、屋根、軒下など雨除けのある箇所に取付下さい。
- 庭、花壇など屋根が無い場所に設置する場合には、市販の配電盤ＢＯＸなどを別途ご用意下さい。弊社でも取り扱っておりますので、必要の場合にはご相談下さい。
- 電磁弁、センサーは当社指定のものをご使用下さい。

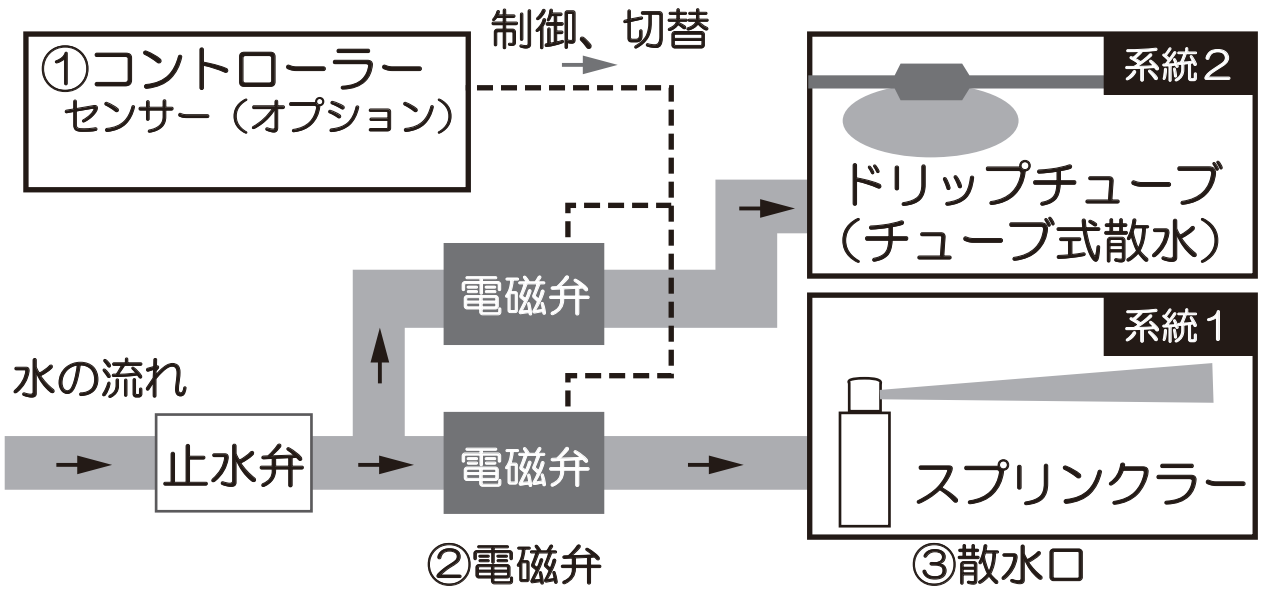
2. 商品仕様

サイズ（mm）	H226×W251×D109（外寸法）
重量（ｇ）	2145ｇ（C10SR400C）
電力（稼動用）	ＡＣ１００Ｖ　　５０Ｈｚ／６０Ｈｚ
電力（散水時刻設定用）	９Ｖアルカリ電池（別途）
電力（時刻維持用）	CR2032リチウム電池（付属）
トランス出力	ＡＣ２４Ｖ　１．００Ａ
ステーション出力	２４ＶＡＣ　０．５６Ａ
最大出力	２４ＶＡＣ　１．００Ａ
電池寿命（AC電源の供給がある時）	約１年
電池寿命（AC電源の供給が無い時）	約１００時間
散水設定時間	１分～６時間まで（分刻み）
散水設定回数	１日１回～最大１２回（PRG使用時）
散水スケジュール	７日カレンダー
制御可能系統（電磁弁）数	C10SR400C：４系統／C10SR700C：７系統 C10SR1000C：10系統／C10SR1300C：13系統 C10SR1600C：16系統

コントローラーは常時電源使用しますので絶えず通電するようにして下さい。ＡＣ１００Ｖ電源の供給が無い場合、停電時に時刻や設定時間がずれる可能性がありますので、ご注意下さい。

自動散水の仕組み

２系統で散水する場合のフローチャート



①コントローラー センサー（オプション）	散水の開始時間や散水時間の制御を行います。
	センサー：作動時の制御を行います。
②電磁弁	給水管の開け閉めを行います。 電磁弁数＝系統数
③散水口	ドリップチューブ：低木・花壇などに最適です。
	スプリンクラー：芝生・苔類などに最適です。

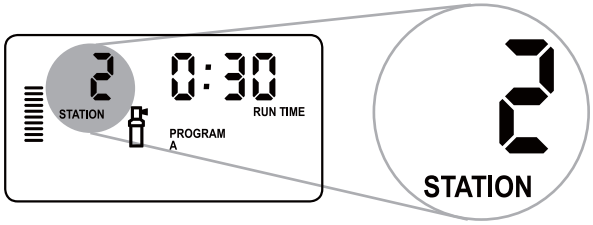
※プロCコントローラーで自動散水するには専用の電磁弁が別途必要になります。

自動散水の系統分けについて

水を撒く範囲が広い場合やスプリンクラー式、チューブ式など異なる散水方式を一つのコントローラで併用する場合は、電磁弁を複数使って系統分けして、範囲を区切って順番に水をまきます。その際は、以下のことにご留意下さい。

- 散水は各系統ごとに行われます、すべて同時に水をまくことは出来ません。
- 散水時間 RUN　TIME（水をまく時間） は各系統ごとに設定する必要がありますが、開始時刻 START　TIME（水をまき始める時刻） は順番で行われますので、各系統ごとに設定する必要はありません。（次の系統の散水は自動で始まります。）

コントローラの液晶画面では「STASION」と「番号」で表示されます。

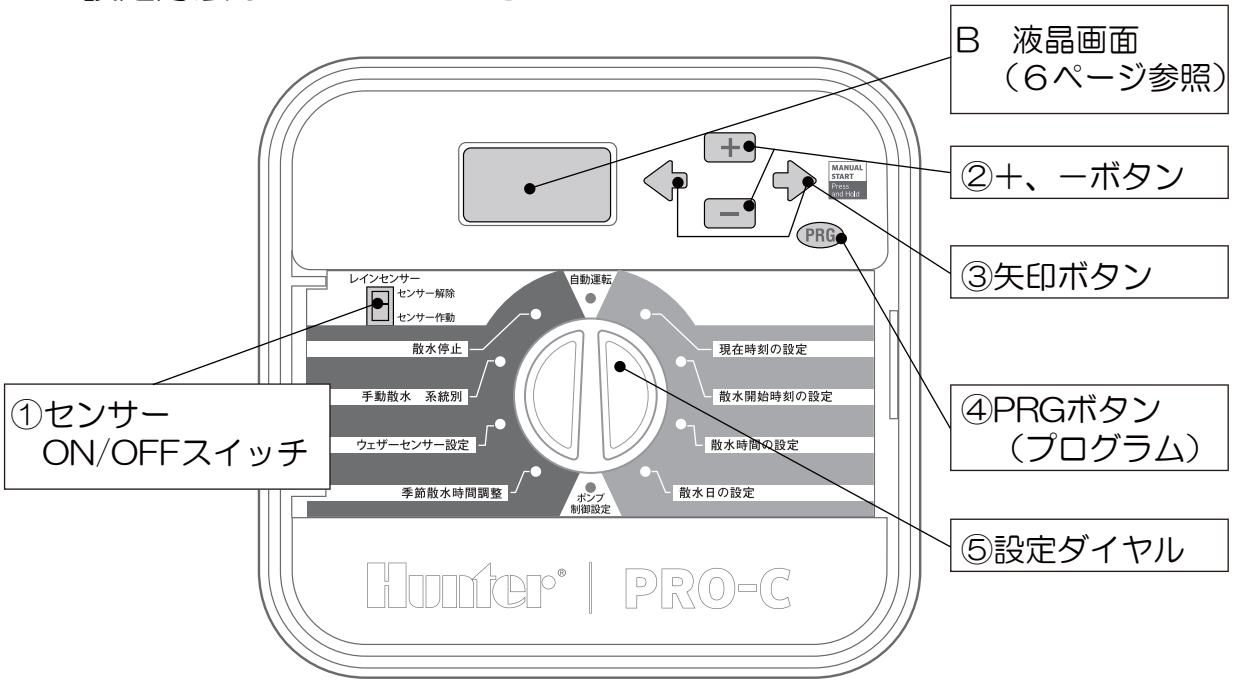


※系統２の表示
系統が変わると数字が変わります。

2. 各部の名称ーA

A：操作パネル前面

※設定方法は１３ページから



①センサーON/OFFスイッチ

センサーを接続している場合に使用します。
「作動」はセンサーと連動します。
「解除」はセンサーとは連動しません。

②＋、ーボタン

主に数字の増減に使用します。
点滅している数値の変更が可能です。

③矢印ボタン

設定時の項目移動に使用します。

④PRG（プログラム）ボタン

※設定をリセットする場合に使用します。
　手順は２６ページ参照
※『系統別プログラム』を設定する場合に
　使用します。『系統別プログラム』設定は
　複雑なため、熟練者向けの操作となります。
　１日の散水設定回数を５～１２回に設定
　したい場合などの時に使用します。

⚠ 『系統別プログラム』は２７ページを参照。

B　液晶画面

コントローラーの状態を表示します。
画面表示は次ページ（６ページ）にて。

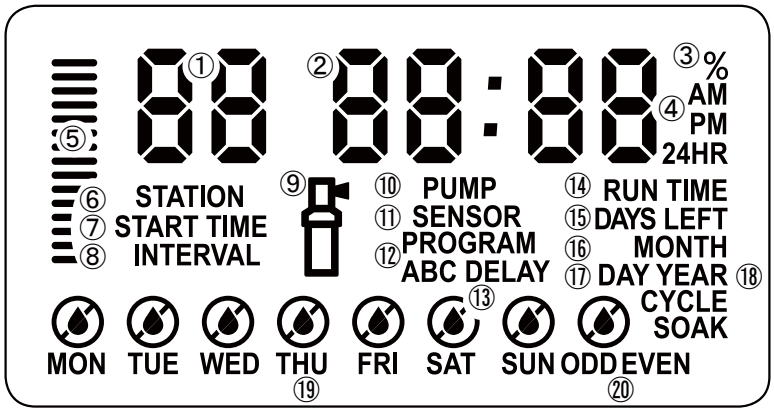
⑤設定ダイヤル

通常は「自動運転」に合わせておきます。コントローラの設定をする時に回します。

- 自動運転／通常のダイヤル位置です。
- 現在時刻の設定／現在時刻を調整します。
- 散水開始時刻の設定／散水を始める時刻を設定します。（通常４回まで）
- 散水時間の設定／散水をする時間を設定します。（最大６時間まで）
- 散水日の設定／散水する曜日を設定します。（曜日指定可能）
- 散水停止／設定を残したまま自動散水を休止出来ます。散水の中断も出来ます。
- 手動散水　系統別／系統毎に手動で散水することが出来ます。
- ウェザーセンサー設定／使用しません。
- 季節散水時間調整／入力済みの散水時間を一括で増減する操作が出来ます。
- ポンプ制御設定／ポンプを接続して連動させる設定です。

2. 各部の名称ーB

B：液晶画面



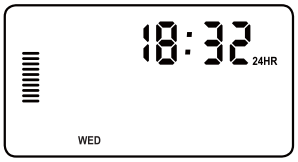
①：回数、系統などを表示します
②：時刻、散水時間などを表示します
③：散水時間の増減をパーセント表示
④：24時間、午前午後 -AM/PM/24HR- の表示
⑤：散水時間の増減をグラフで表示
⑥：ステーション STATION 散水系統を表示
⑦：スタートタイム START TIME 散水開始時刻を表示
⑧：インターバル INTERVAL 散水日の間隔を表示
⑨：スプリンクラーアイコン 散水しているときに表示
⑩：ポンプ （※1：ポンプ連動機能）

※1： ポンプ連動は追加オプションになります。詳細は別途問い合わせ下さい。

⑪：センサー SENSOR センサーが作動している時に表示
⑫：プログラム PROGRAM プログラムA，B，Cを表示（※2）
⑬：ディレイ DELAY 散水が設定時刻よりも遅れます（※3）
⑭：ランタイム RUN TIME 散水時間を表示
⑮：デイズレフト DAYS LEFT 次の散水日までの残日数（P.21参照）
⑯：月 MONTH 月を設定します
⑰：日 DAY 日を設定します
⑱：年 YEAR 年度を設定します
⑲：曜日を表示
⑳：偶数日、奇数日の散水設定を表示

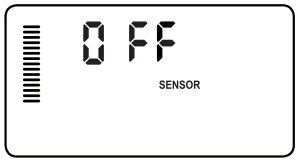
※2： 通常はプログラムAでご使用下さい。
B，Cで表示された場合はPRGボタンを押して
Aに戻して下さい。（27ページ参照）
※3：散水時間を延長した場合に予定から時間がずれる場合に表示されます。

普段の液晶表示



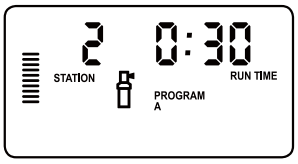
自動散水待機状態のときは現在の時刻が表示されます。

センサー作動時の液晶表示



スイッチをセンサーONにして、レイン（雨）センサーが作動している場合は自動散水されず、上記の表示となります。

散水中の液晶表示



系統番号2
残り30分
プログラムA

散水中は以下のものが表示されます。
散水系統番号 STATION
残り散水時間 RUN TIME
プログラム表示 PROGRAM
スプリンクラーアイコンの点滅
（チューブ散水の場合もこの表示となります。）

センサーをご使用のお客様へ 覚えておいて頂きたい事

レインセンサーは構造上、降雨時でも自動散水を休止しない場合や、晴天時でも自動散水が実行されない場合があります。以下のような時は、故障ではありませんのご注意下さい。

①散水開始時刻の直前や散水中に雨が降り出した時に水が出ている場合

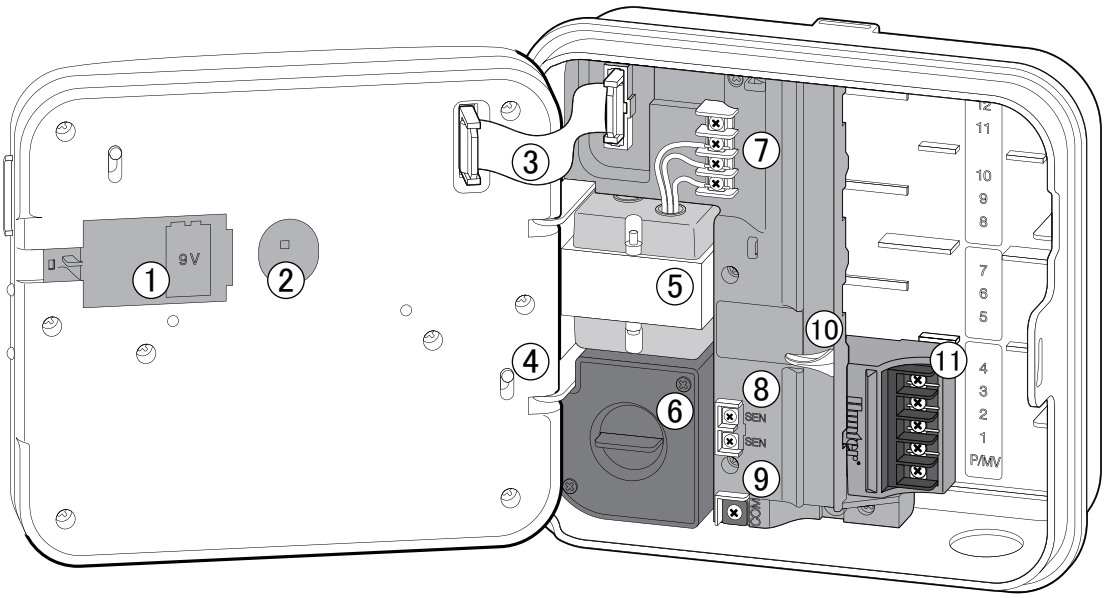
②散水開始時刻の数時間前にまとまった降雨があり、散水時間になっても水が出ない場合

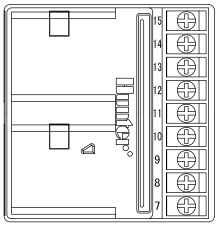
※ 上記以外の表示が出た場合は25ページ～トラブル対策ページをご参照下さい。

2. 各部の名称ーC

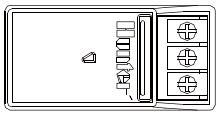
C：操作パネル裏面（配電盤）

※　図はC10SR400Cです。





△
１５系統用
追加モジュール



△
３系統
追加モジュール

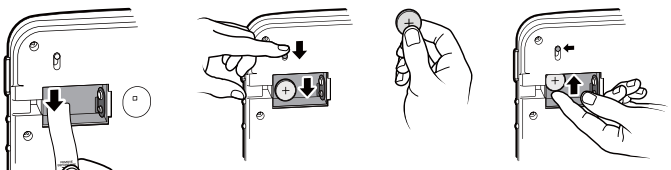
① 電池投入部：9V アルカリ電池とボタン電池（CR2032）を入れる事が出来ます。
電池を入れなくても日常使用には支障ありません。電池については下記参照。
② リセットボタン：設定を初期状態に戻すことが出来ます。（方法は２６ページ）
③ パネルコネクター：本体と液晶部をつなぎます。取り外し可能です。
④ 操作パネルを本体から取り外すためのヒンジレバーです。
⑤ 電圧トランス：AC100V を AC24V に変換します。
⑥ ジャンクションボックス：一次電源とアースをつなぎます。
⑦ AC24V 入力部：変圧された電力を本体に分電します。
⑧ センサー接続部：センサーを接続します（詳細は１１ページ）
⑨ ＣＯＭ(コモン）集合線を接続します。
⑩ モジュールレバー：POWER ON でモジュール固定、コントローラー作動にします。
⑪ モジュール：基本モジュールは 4 系統、マスターバルブ用端子です。

電池について

バックアップ電源は必要なくなりました。散水設定は不揮発メモリーに記憶され、停電時でも散水設定は通常保持されます。ボタン電池が無い状態で停電をすると、内蔵の時計がリセットされてしまいます。そのまま電源が復旧した時には、想定外の時刻に自動散水をしてしまう事がありますので、ご注意下さい。

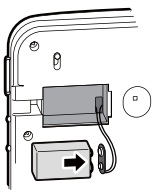
プロＣコントローラーには２種類の電池を使用することがあります。（無くても作動します。）
①：ボタン電池（付属）
停電時に時計の時刻がずれるのを防止します。
②：9V 電池（別途）
電源が無くても散水設定をする事が出来ます。

ボタン電池の入れ方



出荷時は電池が入れてあり、絶縁フィルムが付いています。電池カバーを取り外してから、絶縁フィルムを外して、電池を入れ直して下さい。

9V 電池の入れ方



電池カバーを取り外して９V 電池のプラスマイナスを正しく装着します。

GLOBEN

3. 取り付け

施工の前にご用意下さい

部材

- 防水コンセントプラグ
- 9Vアルカリ乾電池　（事前設定用）
- アンカーネジ（壁面と本体を固定します。）　３０mm程度　３本以上
- 電源の延長線（出荷時の付属長さは５０ｃm程度です。）
- 多芯制御線（各種電磁弁、センサー、アース線、アース棒）
- PF管（制御線保護用）
- 圧着端子（防水コネクタ）
- 配管部材
- コーキング剤

工具

- スクリュードライバー
- ドリル
- 配線用工具類
  （ペンチなど）
- 配管用工具類
  （塩ビカッター、シールテープなど）
- 掘削工具類

梱包内容

- コントローラー本体×１
- 部品袋（鍵２本、アンカーネジ）
- 壁面固定用型紙
- 取扱説明書（本書）

足らない物があった場合は、
お手数ですがご連絡下さい。

※コンセントプラグは付属してません。
※部品袋は操作パネルを開けて、
　配電盤部にあります。

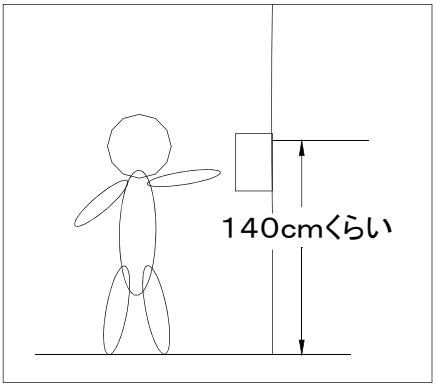
⚠ 設置場所についての注意点

以下のことに注意して設置場所を決めて下さい。

- 設置予定の附近５m以内に電化製品が無いかチェックして下さい。
  電磁波の影響で誤作動、不具合の恐れがあります。
- 壁面に固定する場合は電源が引きやすく、平坦な場所を選んで下さい。
- 小さなお子様が触れて、いたずらする恐れがある場所は避けましょう。
- 設置高さは操作しやすい１４０ｃm程度の高さが最適です。

⚠ 電源供給に付いての注意点

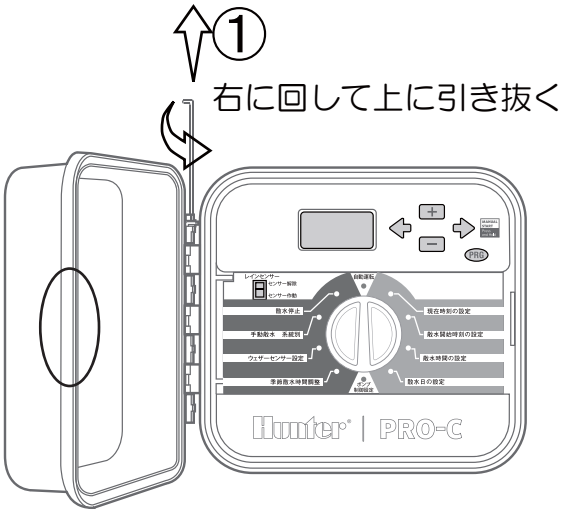
コントローラーを設置の際は常時通電するように設備
配線をして下さい。
施設などで利用する場合には、夜間でも通電させて
下さい、ブレーカーでON、OFFする配線に組み込んで
しまうとプログラムが誤作動する可能性があります。



取り付けの前に

取付けし易くするため、本体からコントローラのカバーと操作パネルを一旦外します。作業後は逆の手順で、元に戻して下さい。

カバーの外し方

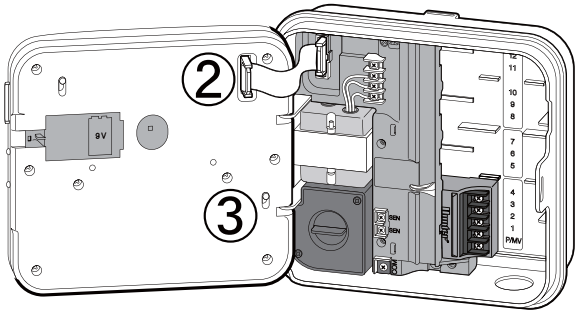


手順①カバーと本体の接続部にある金属の棒を右に回して、上に引き抜きます。

⚠ 出荷時は施錠してありません

強風などによる開放防止のため、カバーのツメがしっかり引っ掛る様に固くなっています。
外側に軽く広げながら空けて下さい。
締める際にもしっかり奥まで締めて下さい。

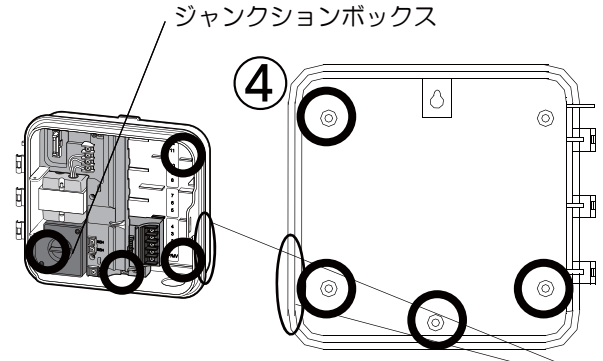
操作パネルの外し方



手順②操作パネルを開けて、パネルコネクタを取り外します。

⚠ 接続部分が損傷しないようにご注意下さい。

手順③ヒンジの取り外しレバーを下げながら、操作パネルを手前に引いて外します。



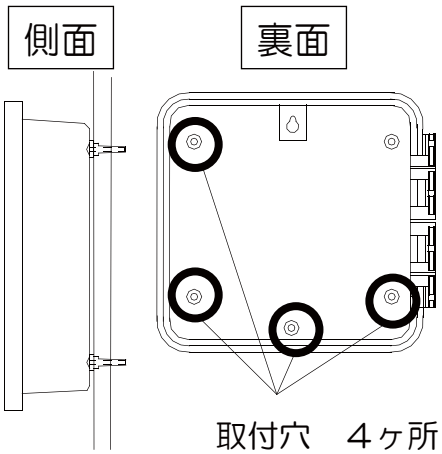
手順④コントローラーを壁面に取り付けるため、本体に6mm穴を4ケ所ドリルで空けます。
ジャングションボックスはネジを外して、ケーブルが破損しないように注意して下さい。
（付属の壁面固定用型紙は3箇所です。）

⚠ 横穴はセンサーと電磁弁を離して設置する時に空けます。
（空けなくても取付可能です。）

表面（中面）　裏面

GLOBEN

取り付け：本体を壁面に固定



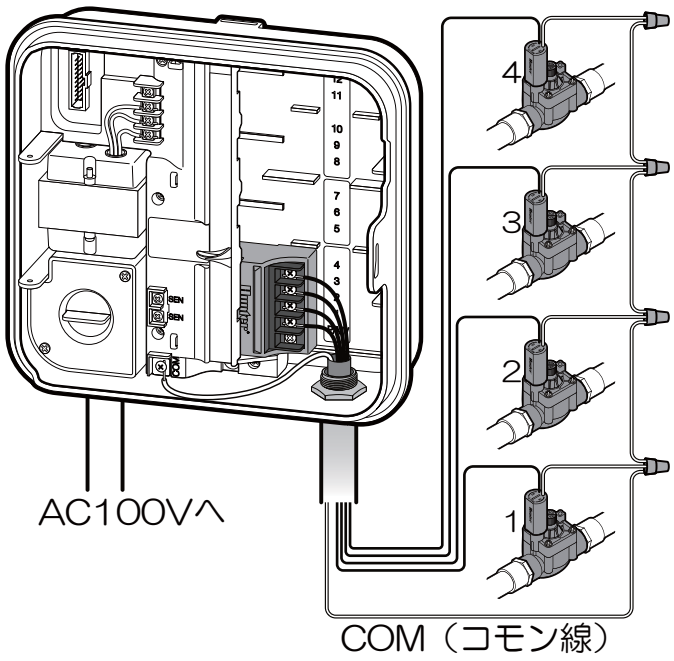
手順① コントローラーを取り付ける箇所に
同封してある型紙をあてて、印を付けます。

手順② 印を付けた場所にドリルで穴を空けます。

手順③ アンカーネジで本体を４ヵ所固定します。
※固定後、壁面とコントローラーとの隙間を
コーキング剤で埋めて下さい。

⚠ 固定用のアンカーネジは躯体壁面に合わせて
別途ご用意下さい。

取り付け：電磁弁の接続



手順① 電磁弁の設置場所を決めた後に、
コントローラーと電磁弁間の制御線の
ルートを決めます。

手順② コントローラーの底部右にある電磁弁
接続用の穴にＰＦ管（保護管）を接続
します。

手順③ 電磁弁から出ている制御線の片方を
延長して、コントローラーの系統番号に
接続します。（『STASTION』の番号に
なります。）

手順④ 電磁弁の制御線のもう一方を共通線
（『コモン線』白色部分）で全てつなぎ
コントローラーの「COM」と接続します。

手順⑤ アース線を取り完了です。

手順⑥ AC100V電源を防水コンセントや、
配電盤に接続して下さい。

⚠ 接続の際の注意事項

- 電源は、すべての結線が完了した後に安全を確認して入れて下さい。
- 制御線同士をつなぐ場合は圧着端子などを使用して、漏電や混線の無い様にして下さい。
- 電磁弁（AC24V用）に極性はありません。
- 電磁弁の取扱いについては、電磁弁の取扱説明書をご参照下さい。

推奨ケーブル種類

AC100V電源
CVV：1.25SQ以上

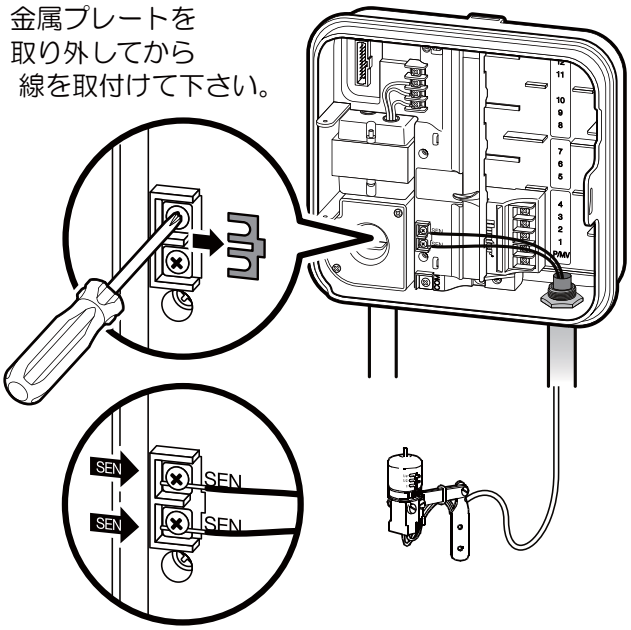
AC24V用（電磁弁、センサー）
VCTF：0.5SQ以上

上記は推奨品で当社指定ではありません。
ケーブルの延長距離や設置状況に応じ、
電気工事店などにご確認下さい。

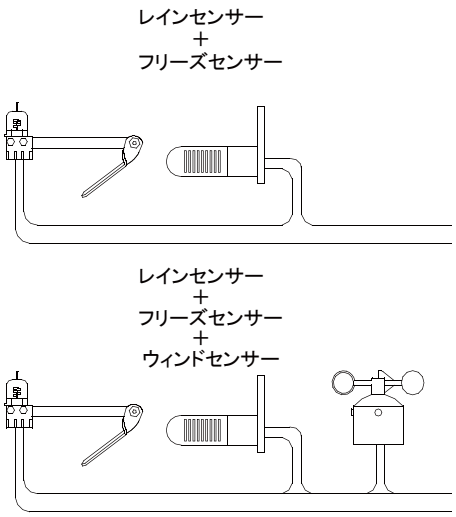
取り付け：各センサーの接続

別売りの専用センサーを使うことによって、雨天、低温時、強風の時に
一時的に散水を休止することが出来ます。
センサーを結線した後、操作パネルのセンサーON／OFFスイッチを
「作動」に合わせる事で機能します。

注：金属プレートを
取り外してから
線を取付けて下さい。



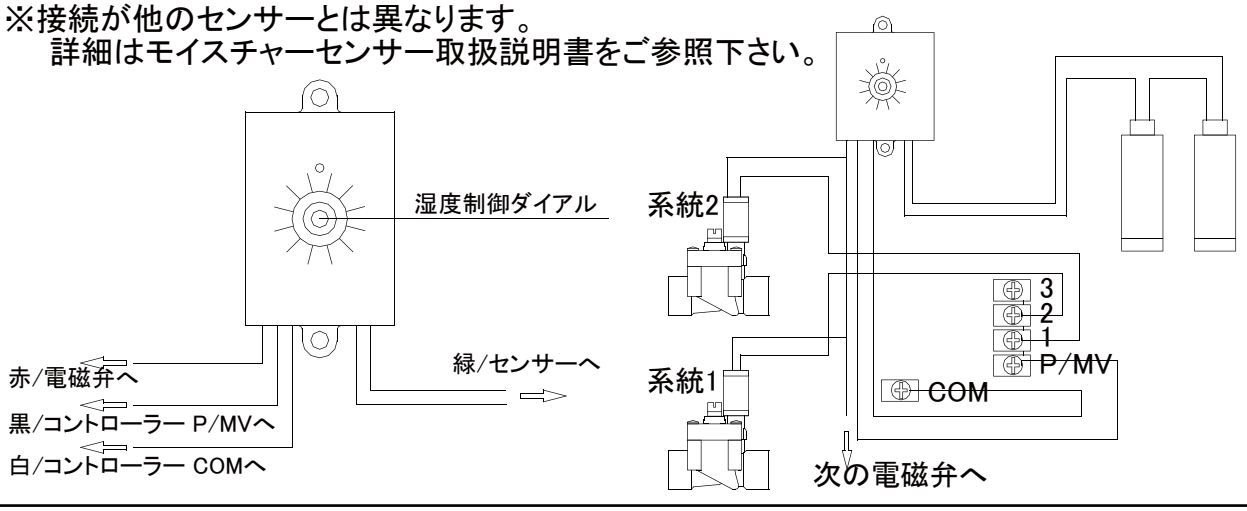
注：必ず直列配線にして下さい



手順①　電磁弁と同様に底部もしくは側面の穴から配線します。
手順②　「SEN」の端子台に付いている金属プレート（付いている金具）を
取り除きます。
手順③　それぞれの「SEN」端末にセンサーの制御線を 直列 に取り付けます。
手順④　操作パネルのセンサー切替スイッチを「作動」に合わせます。

モイスチャーセンサーについて

※接続が他のセンサーとは異なります。
詳細はモイスチャーセンサー取扱説明書をご参照下さい。



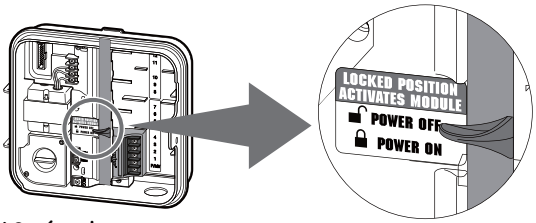
GLOBEN

取り付け：追加モジュール（４系統以上の場合）

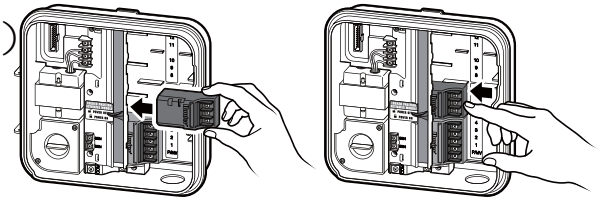
プロCコントローラーは配電盤部分にモジュールを
追加することで最大１６系統までの制御を行うことが出来ます。

⚠ 最初に電源を切って下さい。

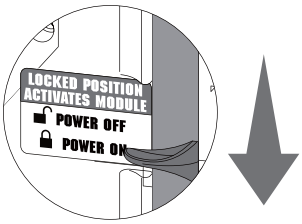
手順① モジュールレバーをOFFにします。



手順② 追加モジュールをしっかり奥まで
差し込みます。
（カチッと音がするまで）

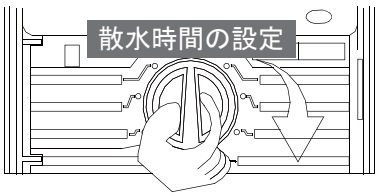


手順③ モジュールレバーをONにします。

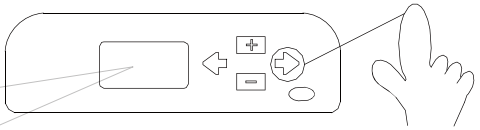


手順④ コントローラー本体の電源を入れて、
ダイヤルを 散水時間の設定 にします。

＊液晶パネルを外した場合は、
付け直して、パネルコネクタを付けます。



手順⑤ ➡ ボタンを数回押して、
表示される数字を確認します。



認識された数字の数だけ
系統の設定が出来ます。

手順⑥ ダイヤルを自動散水に戻します。

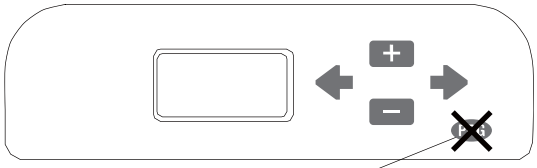
⚠ モジュール認識がうまくいかない場合

もう一度手順を最初から行い、
モジュールが奥まで差込まれているか確認します。
その後、コンセントを４，５回差し直しします。

4 操作方法

使用するボタン

・各設定はダイヤルを合わせた後、4つのボタン行います。



※使用しません

数字の増減

項目の切り替え

PRG ボタンについて

『系統別プログラム』が必要な場合のみご使用下さい。
通常は設定が複雑になるため、使用を勧めておりません。
液晶表示が「PROGRAM　A」になっている事をご確認下さい。
詳細は２７ページの『系統別プログラム』をご参照下さい。

操作方法の目次

ⅰ：現在時刻の設定
　現在時刻の合わせ方 ---------- P.14

ⅱ：散水開始時刻の設定
　開始時刻の設定 ---------- P.16
　設定回数の変更 ---------- P.17

ⅲ:散水時間の設定
　散水時間の設定 ---------- P.18

ⅳ：散水日の設定
　曜日ごとに設定する場合 ---------- P.20
　３日に１回散水するが毎週日曜は散水しない場合（インターバル） ------- P.21

ⅴ：手動散水系統別 ---------- P.22

ⅵ：手動散水全系統 ---------- P.23

ⅶ：散水停止 ---------- P.23

ⅷ：季節散水時間調整 ---------- P.24

ⅸ：追加設定機能 ---------- P.24

EX：『系統別プログラム』での運用 ---------- P.27

『系統別プログラム』は必要な場合のみご使用下さい。

GLOBEN

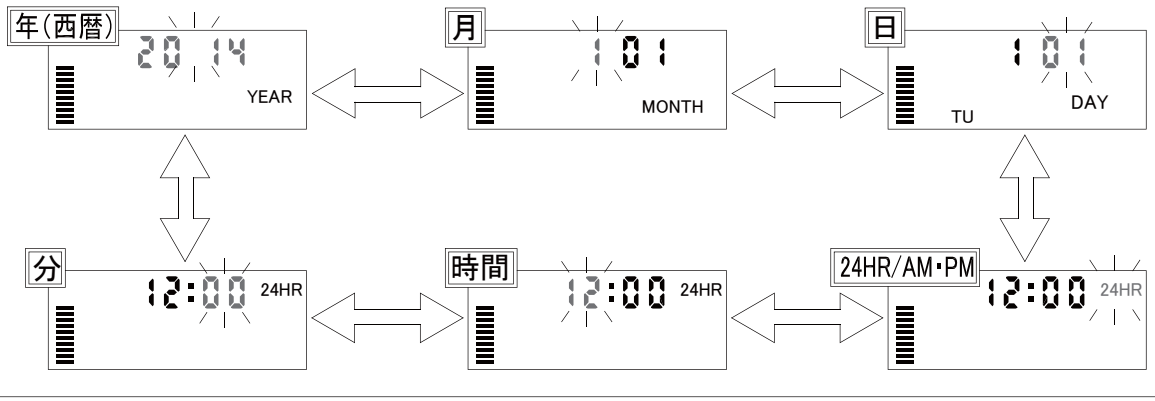
ⅰ. 現在時刻の設定

例：現時刻が2014年3月10日13時47分の場合

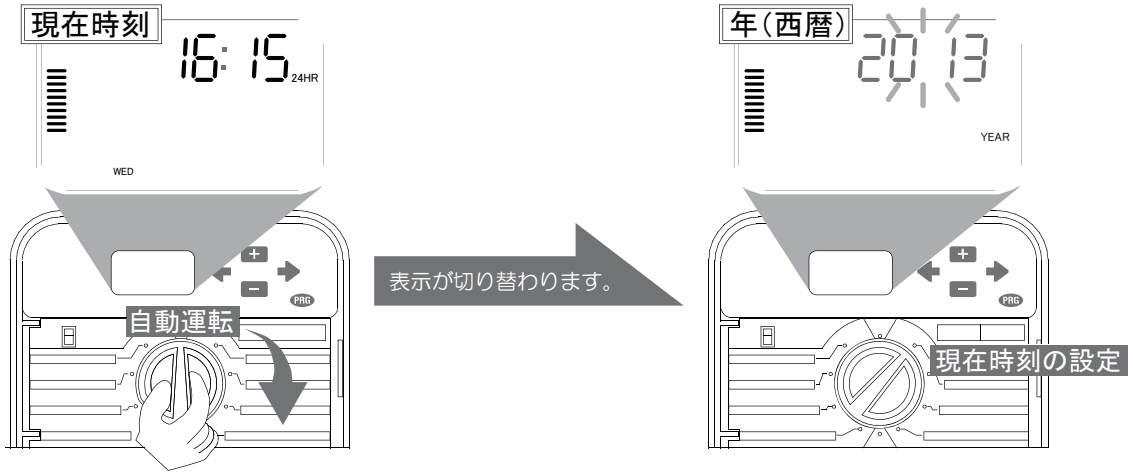
ポイント

・＋ － ボタンで数字の変更、◀ ▶ボタンで設定項目切替になります。
・曜日は自動で切り替わります。（閏年対応）

◀ ▶ボタンで切り替わる順番（サイクル）

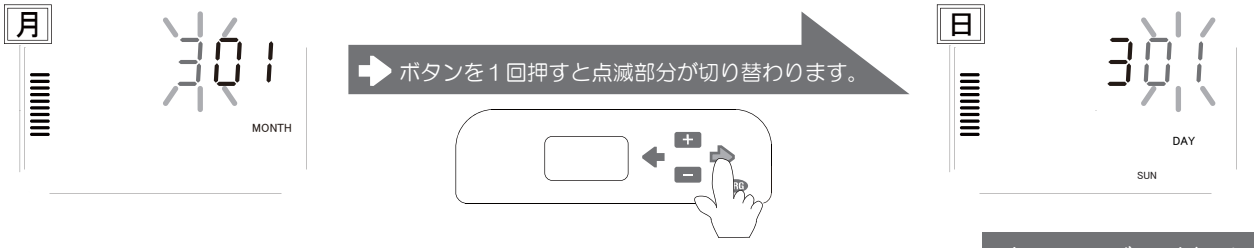


・ダイヤルを 現在時刻の設定 に合わせます。



・＋ － ボタンを押して、『年』を合わせたら、▶ボタンを１回押して下さい。

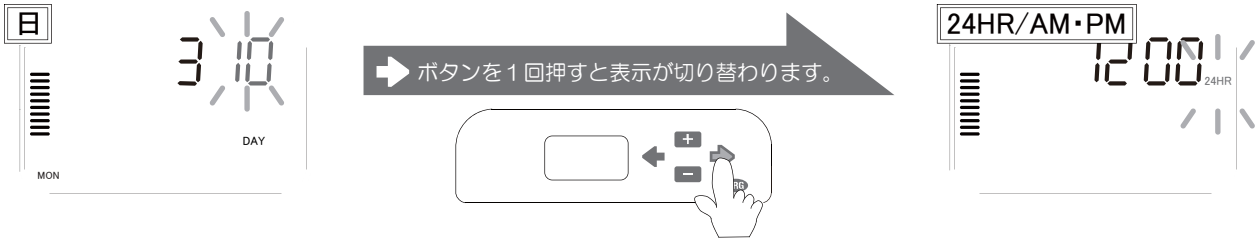
・＋ － ボタンを押して、『月』を合わせたら、▶ボタンを１回押して下さい。



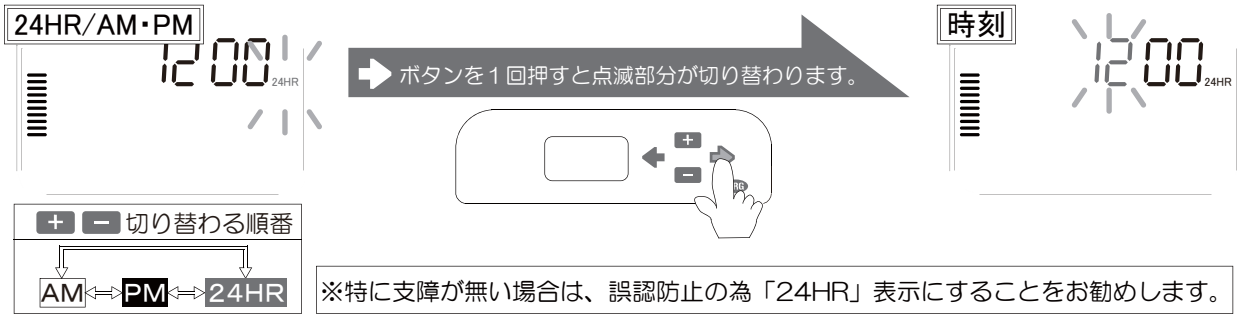
次ページに続く

前ページからの続き

・＋ － ボタンを押して、『日』を合わせたら、➡ ボタンを１回押して下さい。



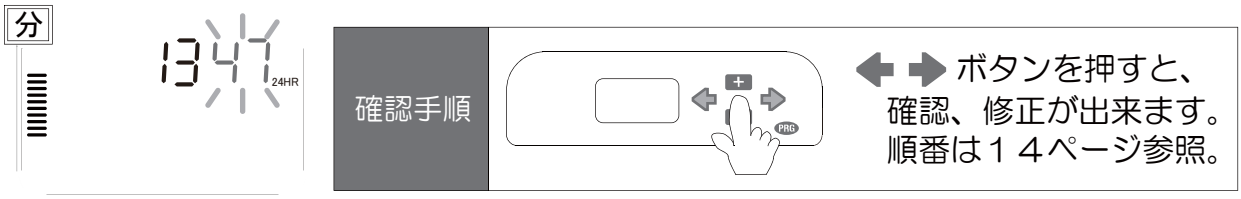
・＋ － ボタンで『24時間表示』か『AM/PM表示』を選択し、➡ ボタンを１回押して下さい。



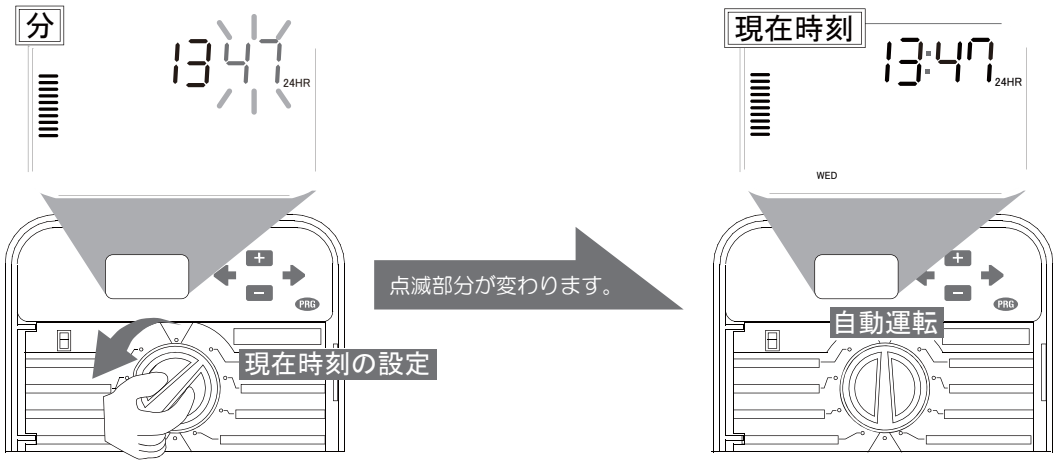
※特に支障が無い場合は、誤認防止の為「24HR」表示にすることをお勧めします。

・＋ － ボタンで『時刻』を合わせて、 ➡ ボタンを１回押して下さい。

・＋ － ボタンで『分』を合わせます。入力操作は以上です。



・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

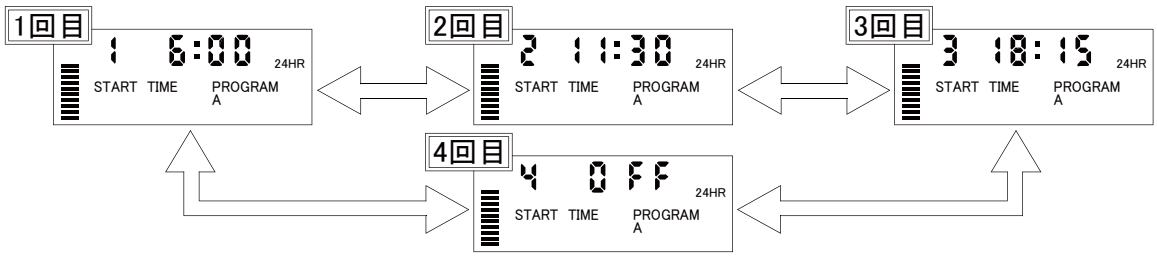


ii． 散水開始時刻の設定　START TIME

ポイント

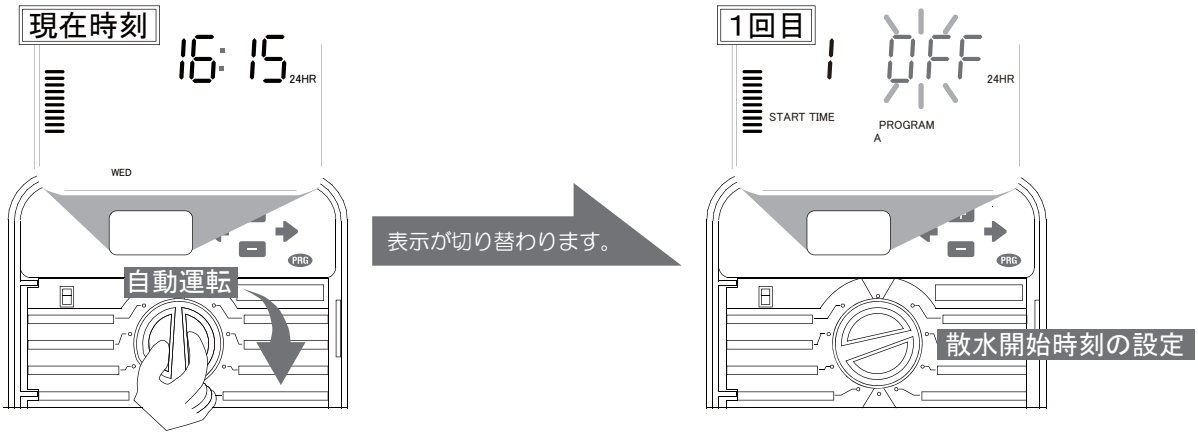
- 開始時刻は15分単位の設定になります。
- ◀ ▶ ボタンで散水開始時刻の回数が切り替えられます。
- 1日最大４回まで設定可能です。
- ≪OFF≫表示の場合は散水されません。
- 電磁弁ごとに個別に設定する必要はありません。（順番に実行されます。）

◀ ▶ボタンで切り替わる順番（サイクル）



設定例：1回目６：１５、2回目１７：３０、3,4回目未設定の場合

・ダイヤルを 散水開始時刻の設定 に合わせます。



・＋ － ボタンで、１回目の『散水開始時刻』を設定し、▶ ボタンを１回押して下さい。

開始時刻は15分単位の設定になります。

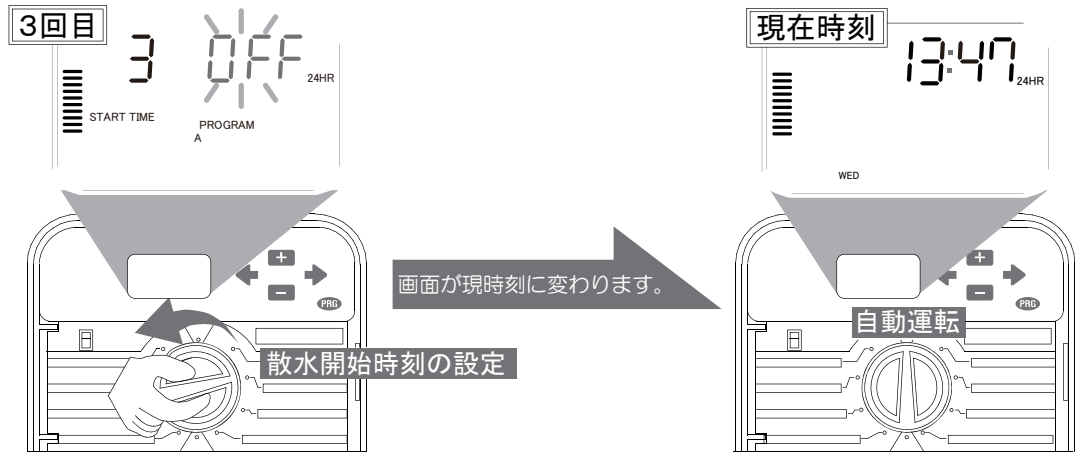
次ページに続く

前ページからの続き

・＋ － ボタンで、２回目の『散水開始時刻』を設定し、 ➡ ボタンを１回押して下さい。

入力操作は以上です。確認、修正は ⬅ ➡ ボタンを押して下さい。
３，４回目を入れる時は操作を繰り返して下さい。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。



設定例：散水の回数を1日２回から１回に変更する場合

・ダイヤルを 散水開始時刻の設定 に合わせます。

既に設定済みの散水開始時刻の１回目が表示されます。

・➡ ボタンで散水を止める開始番号に合わせます。

＋ － ボタンで『散水開始時刻』を≪OFF≫にします。

≪OFF≫は「23：45」と「0：00」の間になります。

・⬅ ➡ ボタンで３回目、４回目も≪OFF≫になっているか確認して下さい。

≪OFF≫になっていないと散水してしまいます。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

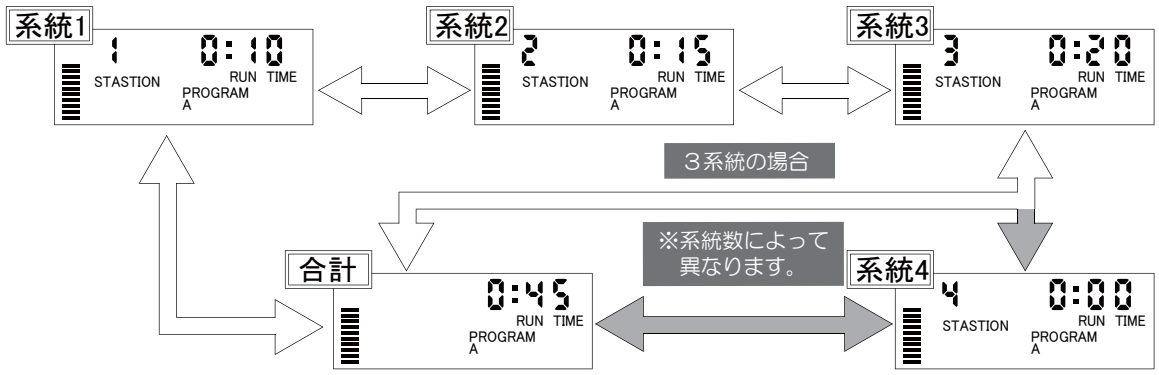
ⅲ. 散水時間の設定

RUN TIME
STATION

ポイント

- 散水時間（水をまく時間）を設定します。
- ◀ ▶ ボタンで系統毎の散水時間の設定画面に切り替わります。
- 1回に6時間まで設定可能です。（120分までは1分単位、以降は10分単位）
- 開始時刻ごとに散水時間を変更することは出来ません。
- ≪0：00≫表示は散水時間ゼロです。（散水されません。）

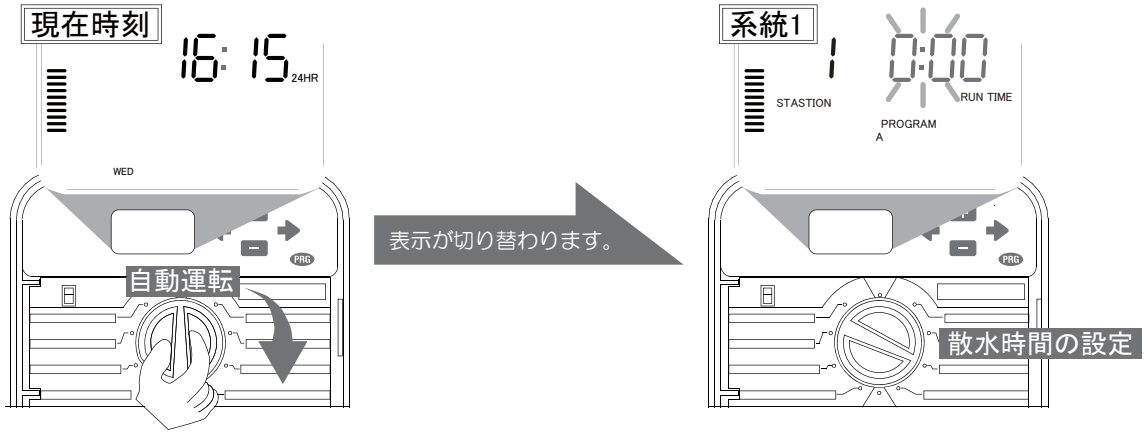
◀ ▶ボタンで切り替わる順番（サイクル）



※通常は本体に接続されているモジュールの数だけ表示されます。
※操作パネルを外して、乾電池で設定する場合は１６系統分の表示がされます。
※系統が正しく認識されない場合は１２ページを参照の上、ACコンセントを抜き差しして復旧して下さい。

設定例：系統１=10分、系統2=30分の場合

・ダイヤルを 散水時間の設定 に合わせます。



・＋ － ボタンで、系統１の『散水時間』を設定し、 ▶ ボタンを１回押して下さい。

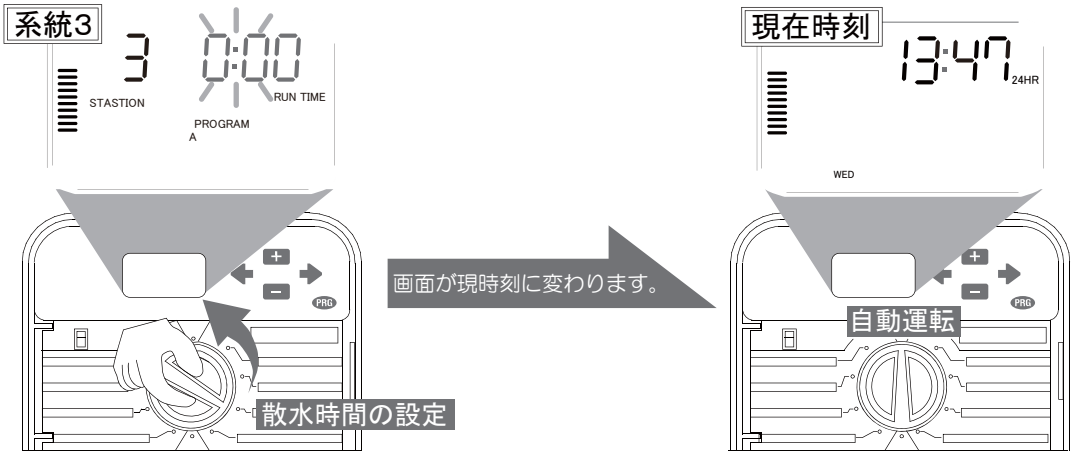
120分まで1分単位、
以降は10分単位になります。

次ページに続く

前ページからの続き

・＋ － ボタンで、系統２の『散水時間』を設定し、 ➡ **ボタンを1回押して下さい。**

・入力操作は以上です。確認、修正は ⬅ ➡ ボタンを押して下さい。
・3系統以上の設定が必要な場合は操作を繰り返して下さい。
・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。



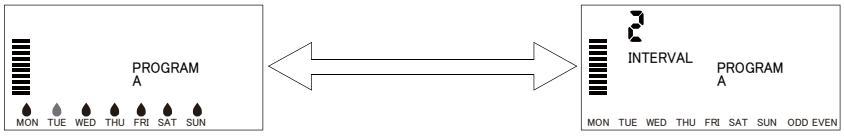
iv. 散水日の設定

ポイント

- 散水日（水をまく曜日）を設定します。
- 曜日ごとに設定可能です。
- ３日間で１日だけ散水の繰り返しなどの設定ができます。

◀▶ボタンで切り替わる順番（サイクル）

各曜日 ⇔ インターバル(INTERVAL)



※各曜日の順に点滅が変わります。

※ODD【奇数】⇔EVEN【偶数】⇔インターバル各曜日の順に点滅が変わります。

※一番最後に設定した曜日間隔で散水されます。
※インターバルは「2」で2日間に1回（1日おき）、「5」で5日に1回（4日おき）散水されます。
※インターバルで「1」の場合は毎日散水されます。
※奇数日、偶数日はカレンダーに連動しています。年月日の設定を間違えずに設定して下さい。

液晶表示について

MON 散水する日（月曜日）

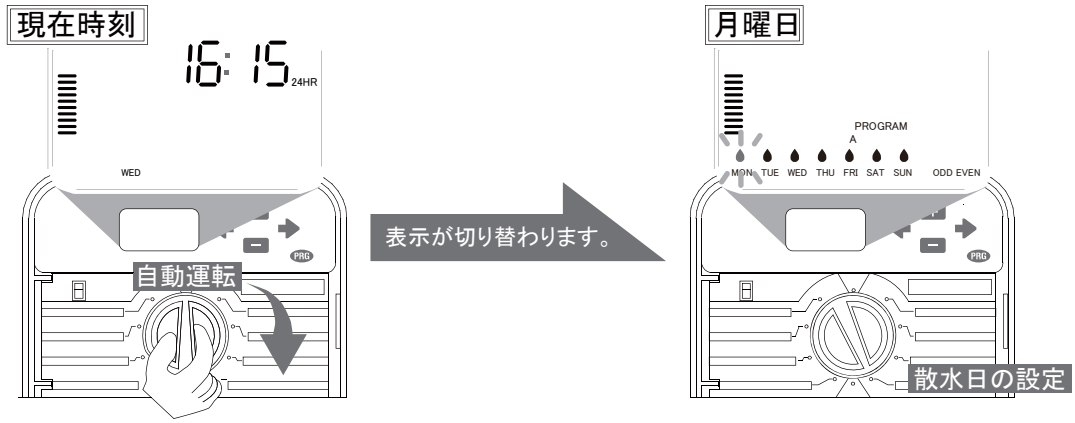
MON 散水しない日（月曜日）

例①:月曜、木曜、土曜に散水する場合

例②:3日に1回散水するが、毎週日曜は散水しない場合

設定例：曜日ごとに設定する場合

・ダイヤルを 散水日の設定 に合わせます。



・散水日を設定します。

- ◀▶ ボタンを押すと曜日が切り替わります。
- ＋ － ボタンを押して設定します。

	ボタン	液晶表示
散水する日	＋	MON（月曜日）
散水しない日	－	MON（月曜日）

⚠ ＋ － ボタンを押すと、次の曜日に移動します。
戻る場合は ◀ ボタンを押して下さい。
『日曜』の次は『奇数偶数設定』、『月曜』の前は、『インターバル』です。（切り替えサイクル参照）

次ページに続く

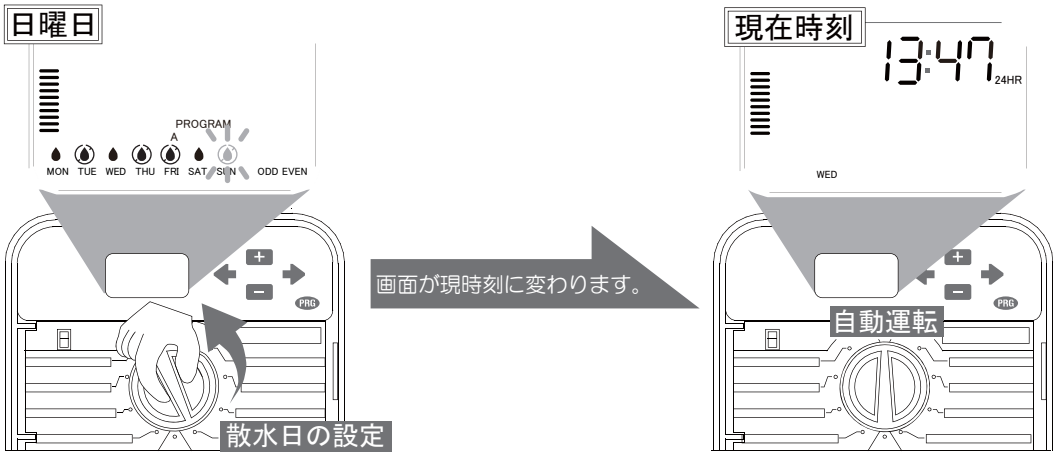
前ページからの続き

入力操作は以上です。確認、修正は ◀ ▶ ボタンを押して下さい。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

注意事項

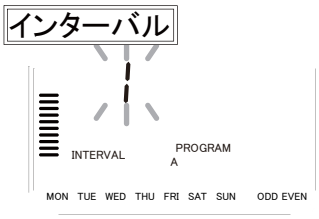
ダイヤルを回す直前の設定画面が実行されます。
インターバルなどの設定画面になっていないか確認して下さい。
下図をご参照下さい。



設定例：３日に１回散水するが毎週日曜日は散水しない場合

・ダイヤルを 散水日の設定 にし、インターバル散水設定の画面にします。（20ページ参照）

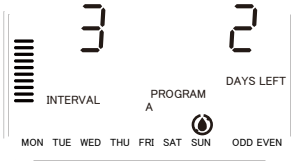
◀ ▶ ボタンを押して、表示を切り替え　＋ － ボタンで散水間隔を設定して下さい。



「３」の場合は３日間で１回（２日おき）
「５」の場合は５日間で１回（４日おき）
「１」の場合は毎日散水されます。
※「３１」まで入力可能

・散水停止日を設定します。

- ▶ ボタンを押すと「ＤＡＹＳ　ＬＥＦＴ」が設定出来ます。
- 設定後にもう一度　▶ ボタンを押すと散水停止日の設定が出来ます。
- － ボタンで散水停止日を設定して下さい。



左の表示は
・３日に１回散水
・２日後に次の散水実行
・毎週日曜は散水停止
となります。

DAYS　LEFT＝残日数

次の散水日までの日数設定です。
「０」表示の日に散水します。設定後はダイヤルを 散水日の設定 にあわせて、確認します。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

必ずインターバル画面の状態でダイヤルを戻して下さい。

GLOBEN

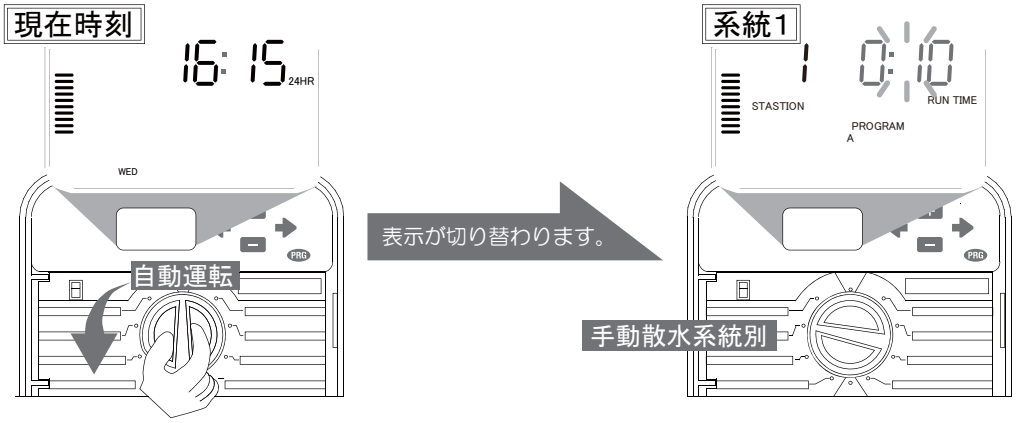
Ⅴ．手動散水系統別

ポイント

・手動で散水をします。（系統毎の時間設定が可能です。）
・設定済みの「散水時間」から時間の増減が可能です。
・センサーで散水停止中の場合でも水を撒く事ができます。

設定例：指定した系統のみを手動で水を出す場合
１系統のみ散水（全系統の場合は２３ページ参照）

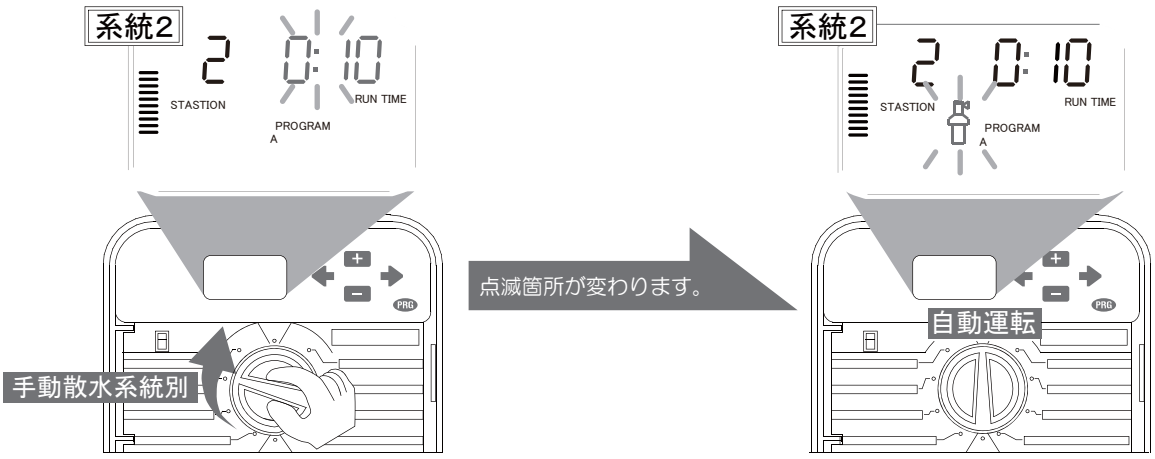
・ダイヤルを 手動散水系統別 に合わせます。「ＳＥＮＳＯＲ　ＯＦＦ」の状態でも水が出ます。



・◀ ▶　ボタンで水を撒きたい系統に合わせます。

・＋ － ボタンで『散水時間』を変更します。（表示時間のままで良い場合は次へ）

・ダイヤルを 自動運転 の所まで回して下さい、しばらく経つと自動散水が始まります。



途中で散水を中止する場合は　散水停止　にダイヤルを合わせて、停止を確認した後 自動運転 にダイヤルを戻して下さい。

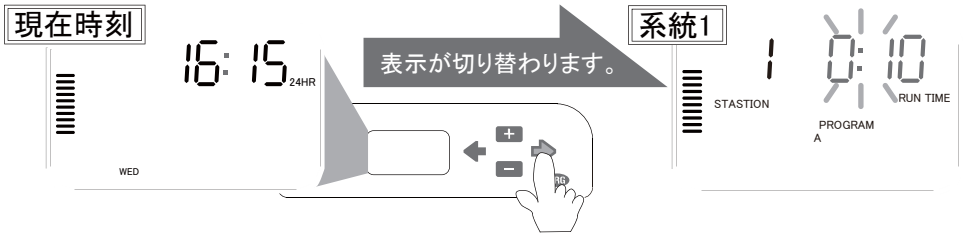
手動散水

vi. 手動散水全系統

ポイント

・手動で散水をします。（系統毎の時間設定が可能です。）
・全系統同時には水は出ません。（順番に出ます。）
・センサー作動中の場合は解除して下さい。

・➡ を押し続けます。（液晶が「ＳＥＮＳＯＲ　ＯＦＦ」表示の場合はセンサー解除して下さい。）



すぐに次のボタン入力をしないと設定済みの散水時間で全系統自動散水が始まります。（変更しない場合は以上で完了です。変更する場合は次の操作へ）

・⬅ ➡ ボタンで時間を変更したい系統に合わせ ＋ － ボタンで散水時間を変更します。

系統２だけ水を撒きたくない場合には、散水時間を０分にすると系統２はスキップされます。

・⬅ で「系統１」の表示画面に戻し、そのままにしておくと散水を開始します。

系統１まで戻さないと時間変更を最後にした系統番号からの散水となり、系統番号が前の系統は散水されません。

⚠ 散水中はボタンを押さないで下さい。

⬅ ➡ ボタンを押すと現在散水中の系統がスキップされます。

＋ － ボタンを押すと散水時間が変更されます。

vii. 散水停止

ポイント

・散水中にダイヤルを合わせると中断出来ます。
・設定を残したままで、無期限もしくは1～９９日間の散水停止が出来ます。

・ダイヤルを 散水停止 に合わせると液晶にＯＦＦが表示されます。
散水中は散水が中断され、それ以外の場合は設定を残したまま設定が実行されません。
・期間設定したい場合は、＋ ボタンを押すと停止期間を設定出来ます。ダイヤルは自動運転に戻します。

・自動散水中、手動散水中に限らず中断出来ます。
・散水の中断を確認した後は 自動運転 にダイヤル戻して下さい。
戻し忘れると散水停止状態のままになります。

viii. 季節散水時間調整

ポイント

・設定済みの散水時間の増減が一括で簡単に出来ます。
・季節に合わせて散水時間の調整が出来ます。（完了時間も変わります。）

・ダイヤルを 季節散水時間調整 に合わせて ＋ ー ボタンで散水時間を調整します。

初期設定は１００%で５%単位で全系統の散水時間増減する事が出来ます。

・毎分の散水量を変えるものではありません。
・散水時間を「６０分」で設定してある場合は３分単位（６０分の５%）で時間が増減します。
・散水時間の上限は６時間、下限は１分です。（この操作で０分にはなりません。）
・%の上限は３００%、下限は５%です。
・散水完了時間も変わりますのでご注意下さい。

・ダイヤルを 自動運転 の所まで戻して下さい。

ix. 追加設定機能

ポイント

・お好みに合わせた設定が可能ですので、紹介致します。
１：系統別の散水間隔を設ける（散水開始時刻遅れ）設定
２：系統別センサー設定

１：系統別の散水間隔を設ける設定

初期設定では複数系統がある場合、間隔を空けずに次系統の散水が始まります。この設定をする事で、次系統の散水開始の間隔を設ける事が出来ます。1系統の場合は必要ない機能です。

・ー ボタンを押しながら、散水時間の設定 にダイヤルを合わせて、ー ボタンを離します。

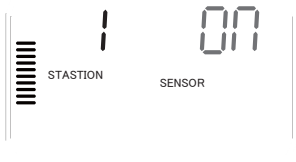
左の画面が表示され、０～59秒の間で１秒間隔、分間隔で最大４時間まで間隔をあける事が可能です。

ポンプなど給水に時間が掛かる場合には、この機能を使用すると系統毎に時間差を付けられます。
（SEC　00は0秒、Hr　1:00は1時間です。）

・ダイヤルを 自動運転 の所まで戻して設定完了です。

２：系統別センサー設定

・ー ボタンを押しながら、散水開始時刻の設定 にダイヤルを合わせて、ー ボタンを離します。



左の画面が表示され、系統毎にセンサーのON／OFFの設定が可能になります。

・ONはセンサー連動、OFFはセンサー無効です。
・初期設定では全系統でONになっています。

・ダイヤルを 自動運転 の所まで戻して設定完了です。

5. よくあるQ&A①

ご使用中に異常が発生した場合は下記を参考に点検をして下さい。
万が一症状が改善されない場合は販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

症状	原因	解決方法
・液晶が表示されない	・電源供給がされていない。	①AC100V電源と配線を調べ、不良箇所を直して下さい。 ②新しいバックアップ電池を取付て下さい。
	・操作パネル裏のコネクタは接続されていますか？	コネクタを差し込んで下さい。
	・コントローラーがモジュールを認識していない。	本体配電盤のモジュールが正しく接続されているか確認し、P12を参照の上、復旧して下さい。
・「ERR」の画面表示されている	・システムが電磁波の影響を受けている。	コントローラと附近の電磁波が発生している機器を離し、制御線を延長していたら保護用制御線に取り替えて下さい。
・「P ERR」の画面表示がされる	・ポンプ(P/MV)に接続している端子に問題がある。 (配線がショートしているなど)	①本体とポンプの制御線を交換、修理して下さい。 ②配線内に浸水が無いか確認して下さい。
・「2 ERR」の画面表示がされる (数字の箇所は系統数に応じて変わります。)	・電磁弁につながる制御線がショートしている。	①表示されている系統の制御配線を交換、修理して下さい。 ②配線内に浸水が無いか確認して下さい。
・「NO AC」の点滅表示がされる	・AC100V電源がコントローラに来ていない。	コンセント、パネルコネクター、ブレーカ、配線類が正しく接続されているか確認して下さい。
・液晶表示はしているが散水されない	・時刻,散水開始時刻,散水時間それぞれ設定してありますか?	説明書(本書)を参考に入力して下さい。 停電等が原因で長時間通電が無かった場合設定が消えている場合があります。
	・止水栓は開いていますか？	止水栓を開けて下さい。
	・ダイヤルが《自動散水》になっていますか？	ダイヤルを自動散水に合わせてください。
	・センサーが機能している。 ・「OFF SENSOR」の表示が出ている。	センサーが作動しています。 散水したい場合は手動にて行って下さい。 P22参照
	・配管、制御線の接続は正しくされていますか？	止水栓を閉め、接続されているかをご確認下さい。
	・配管、制御線などに損傷はありませんか？	止水栓を閉め、損傷箇所を直して下さい。
	・設定時刻が重複していませんか？	時刻設定を確認して下さい。
	・電磁弁の流量調節用ツマミが閉められている。	反時計回しにツマミを回すと流量が多くなります。(回し過ぎに注意！)
	・ストレーナーに異物が詰まっている。	ストレーナーのツマミを回して異物を除去して下さい。
・指定された時刻以外に水が出てしまう。 (次ページに続く)	・散水開始時刻、散水時間は正しく入力されていますか？	説明書(本書)を参考に入力して下さい。
	・PRG(プログラム)を組んである	プログラムA以外の設定を確認して下さい。 必要なければ消去して下さい。 P27参照
	・液晶が「DELAY」を表示している.	設定時間から延長して散水しています。 設定時間を確認下さい。
	・設置場所に高低差がある。	配管内の水が残っている場合は散水終了後も水が少量出る場合があります。

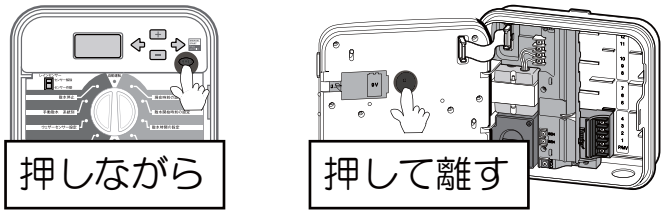
5. よくあるQ&A②

症状	原因	解決方法
・指定された時刻以外に水が出てしまう。	・電磁弁異常	①ソレノイド「SOLENOID」（配線の伸びている黒い棒状の栓）が緩んでいる、時計回しに閉めて下さい。
		②電磁弁内部に異物が詰まっている 分解して洗浄、もしくは交換して下さい。
・各センサーが正しく作動しない	・本体配電盤の金属プレートが付いたままになっている。	金属プレートが外れているか確認して下さい。 P11参照
	・操作パネルのスイッチが「センサー解除」になっている。	「センサー作動」に切り替えて下さい。 P5参照
	・センサーは正しく取付けられていますか？	正しく取り付けして下さい。 P11参照
	・その他 雨が降っているのに散水をしている。	センサーの仕様で降雨中でも水が出ることがあります。散水を止めたい場合はダイヤルを《散水停止》にします。（後で戻して下さい。） 仕様、状況に付いてはP6参照
・コントローラーが設置電磁弁を認識しない （系統数が正しくない）	・コントローラーがモジュールを認識していない。	本体配電盤のモジュールが正しく接続されているか確認し、P12を参照の上、復旧して下さい。
・鍵を紛失した		予備の鍵を別売りで用意しています。

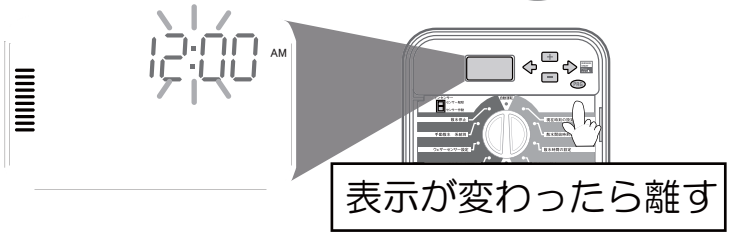
プログラムリセットの手順

すべての設定を消去するには本体リセットの必要があります。

① PRG ボタンを押しながら、液晶裏のリセットボタンを押して離します。



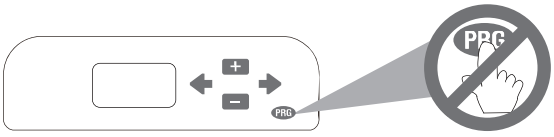
②液晶表示に12：000AMの表示が出たら、 PRG ボタンを離して完了です。



EX. 『系統別プログラム』での運用

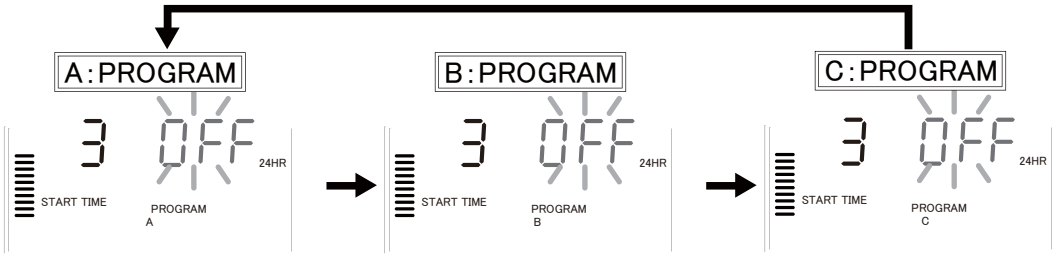
PRG ボタンを使用して行う『系統別プログラム』は若干複雑な為、通常入力しないようにお願いしておりますが、万一必要な場合を想定し、運用される場合の手助けとして紹介します。また、誤って押してしまった場合は、下記を参考に元に戻して下さい。

⚠ＲＰＧボタンのサイクル



PRG ボタンは通常使用しない為、押さない様にして下さい。

設定入力中に誤って、押してしまった時は、再度 PRG ボタンを押して、
A:PROGRAM の設定画面に戻して下さい。



※（PRG）のB・Cは初期設定がOFFになっています。
※想定外の時間に水が出ているなど、誤って『系統別プログラム』が設定されている可能性がある場合は、下記を参考に確認、再設定を行って下さい。

『系統別プログラム』の確認と修正の手順　A:PROGRAMだけを使用する場合

・ダイヤルを 散水開始時刻の設定 に合わせます。

- A:PROGRAM が表示をされているのを確認します。A以外の場合は PRG ボタンを押して、A:PROGRAM の設定画面にして下さい。
- ➡ ボタンを押して、希望通りに散水開始時間が入力されているか確認します。
（散水開始時間が異なっている場合は１６ページを参考に入力して下さい。）

・A:PROGRAM 以外の設定を確認して、修正します。

- PRG ボタンを押して、B:PROGRAM の設定画面にします。
- ➡ ボタンを押して、散水開始時間が入力されていないかを確認します。
入力されてしまっている場合は１７ページを参考にして、すべて≪OFF≫になるように修正を行って下さい。
- C:PROGRAM も同様に確認修正を行った後に A:PROGRAM に戻して完了です。

⚠ ・散水開始時刻の設定 が≪OFF≫の場合は、散水時間の設定 と 散水日の設定 が入力してあっても散水はされません。

EX.『系統別プログラム』での運用

下記のような場合には『系統別プログラム』が必要となります。
- １日の散水設定回数が４回以上必要な場合（例①参照）
- 朝晩で散水時間を異なる時間にしたい場合（例②参照）
- 系統毎に１日の散水回数や散水日を変えたい場合（例②参照）

⚠ 季節ごとの運用は出来ませんので都度設定変更して下さい。

例①　1日に4回～12回に分けて散水する場合。

1～4回（通常）：A:PROGRAM
5～8回目／日　：B:PROGRAM
9～12回目／日：C:PROGRAM

左のようにそれぞれで散水時間や曜日を設定する必要があります。

例②　３系統で植栽が３種類あり、水を与える頻度を分けたい場合。

それぞれの散水頻度や時間を変更することが出来ます。

PRG	A:PROGRAM	B:PROGRAM	C:PROGRAM
植栽	芝生	花壇	屋上
頻度	毎日2回	毎日1回	毎週　水曜１回
開始時刻 散水時間	朝　6：00～　15分 夕　19：00～　同上	朝　7：00～　5分	朝　8：00～　10分

※１つのPROGRAMに付き、１系統あたりの散水時間は1回しか設定出来ません。

各プログラム	散水開始時刻	散水時間	曜日設定
A:PROGRAM	①　6:00	系統1　15分 系統2　0分 系統3　0分	毎日
	②　19:00	同上	
	③　OFF	各0分	
	④　OFF	各0分	
B:PROGRAM	①　7:00	系統1　0分 系統2　5分 系統3　0分	毎日
	②～④OFF	各0分	
C:PROGRAM	①　8:00	系統1　0分 系統2　0分 系統3　10分	毎週水曜
	②～④OFF	各0分	

※この場合、プログラムＡには芝生の散水時間を入力します。プログラムＢとＣの散水時間は０分にして下さい。

※プログラムＡ，Ｂ,Ｃの設定時間が重複する場合は、プログラムＡの散水が完了後にＢ,Ｃが開始されますので、入力されている開始時刻とは異なる時刻に散水を開始して完了時刻も遅れる事があります。